

特別第1分科会 今日的課題 日本PTA担当

会 場 石川県立音楽堂邦楽ホール

日 程 13:00 ~ 受付
13:30 ~ 13:45 開会行事
13:55 ~ 14:45 基調講演
14:55 ~ 16:35 パネルディスカッション
意見発表も含めながら
16:35 ~ 16:45 閉会行事
16:45 終了



金沢城公園 ©石川県観光連盟

基調講演者 コーディネーター



東川 勝哉 氏

経 歴 :

長崎市立西浦上小学校育友会会長 長崎市 P T A 連合会会長
長崎県 P T A 連合会会長 九州ブロック P T A 協議会会長
日本 P T A 全国協議会副会長・専務等を経て、
公益社団法人日本 P T A 全国協議会第 38 代会長に就任
文部科学省いじめ防止対策協議会委員 中央教育審議会委員
学校における働き方改革特別部会委員
日本ユネスコ国内委員・顧問 等を務める

戦前から、学校を支援する組織は存在しており、学校を中心に地域と家庭が実に上手く連携しながら、子供たちの健全な育成を支援してきました。戦後、「教師と父母の会の結成手引書」が全国に通知され、その手引書の中には学校と家庭と地域が責任を分けあう必要性を説いています。現在では、家庭教育の項目が教育基本法の条文にも追加され、教育の第一義的責任は家庭にあることを明示していますが、たとえそれまで明示されなくても、学校が家庭と地域をそれぞれの教育機能に応じて責任を自然と分け合っていました。

PTAの歴史は戦後すぐに始まりました。その後、社会教育の大きな枠組みの中で社会教育団体として各地でPTAが組織されていきました。日本PTAは全国各地でできたPTAの全国組織として昭和23年に創立し、今年で77年目となります。

全国に広がったPTAの活動は、地域の特性や歴史などの特徴を活かしながら社会教育の場として大変重要な存在意義をもった活動を行ってきました。子供たちを中心とした社会環境を見ても、特に近年は価値基準の多様化が、過去に類をみないほどの進捗で進み、社会全体が日本の歴史上でも大きな変革の時を迎えています。PTA活動におきましても、時の環境に適した活動を行うべきであり、これまでの活動を当たり前のように踏襲した活動は成り立たなくなってきました。

義務教育とは、子供が教育を受ける義務ではなく、保護者が教育を受けさせる義務であることは、実はあまり知られていません。大人が、子供を育てていくにあたって、大人が何をどうすればいいのか、それを考え学ぶ場所もPTAの目的や役割の一つであります。この大きな在り方を語らずに、活動の是非や入会の是非だけが、一人歩きしています、だからこそPTAで考えるべきことではないでしょうか。

そもそも P T A とはなんなのか、PTAの在り方を基本軸に考えながら、全国の教育関係の皆様との知見を持ち寄り、意見を交わし、学ぶ機会となるのが全国研究大会の意義であります。ご参加の皆様におかれましては、一つでも気づきを得られ、各地に持ち帰り、ご共有いただき、活動の一助となれば幸甚でございます。

パネリスト



公益社団法人日本PTA全国協議会会長

太田 敬介 氏

福岡県生まれ

鹿児島市立玉江小学校PTA会長 鹿児島県PTA連合会会長

九州ブロックPTA協議会 会長 歴任後

令和5年 公益社団法人日本PTA連絡協議会 理事

令和6年6月より現職。

令和13年 NPO法人SCC 理事長

PTAは終戦直後、全国各地に立ち上がっていった組織です。

先人たちは、何故、あの時にPTAという組織を立ち上げる必要があったのでしょうか。そして今、私たちは何を受け継ぎ、これから何を未来に託すべきでしょうか。本分科会を通し、多様な議論の中から、新たな一歩につながるきっかけになればと思います。



石川県教員総合研修センター所長

金子 俊一 氏

金沢市立小学校で教諭、教頭、校長として勤務

石川県教育委員会事務局教職員課課参事、金沢教育事務所所長、教育次長を経て、現職。

子どもたちを明るく元気に育成していくには、学校と保護者・地域の三者の協力が必要です。そして、学校教育・PTA活動・地域行事などの中で、子どもたちが「人のあたたかさに触れる経験」、「人や自然に感動する経験」、「社会性を学ぶ経験」などを大切にいくことを分科会参加者の皆様と共有（再認識）できればと願っています。

パネリスト



金沢市立城南中学校PTA 前会長

南野 弘一氏

平成25～26年度 金沢市立城南中学校 広報委員(H25)、
広報委員長(H26) ☑

平成27～令和2年度 金沢市立南小立野小学校育友会 副
会長(H27)、会長(5年:H28～R2) ☑

令和3～7年度 金沢市立城南中学校 副会長(R3)、会長(3
年:R4～6)、会計(R7)☑

自分自身の周囲の皆様のおかげで、今日まで活動13年目を迎えました。長ければよいということとは決してございませんが、いわゆるIT化やコロナ禍、不登校問題、任意加入の再確認等を経た期間で実践し、経験させていただきました。私自身の経験を話すことで皆様への活動のヒントやお力になれることがあれば、という思いで受けさせていただきました。どうぞよろしくお願い申し上げます。